



Title	語文 第104輯 表紙
Author(s)	
Citation	語文. 2015, 104
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70951
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成二十七年六月三十日発行
元年十二月五日学術刊行物認可

語

み

大阪大学国語国文学会

第百四輯

- | | |
|--|----------------|
| 織田作之助『十五夜物語』論 | 斎藤理生 |
| 「探偵小説」の方法——坂口安吾「能面の秘密」論 | 黄如萍 |
| 伝北村季吟筆『源語秘訣』と箕形如庵宗乾 | 宮川真弥 |
| 遠藤周作『わたしが棄てた女』論 | アナンド・サンチット |
| ——「ぼく」の(平凡さ)に着目して | 45 31 14 1 |
| 紹介 金水敏著『コレモ日本語アルカ?——異人のことばが生まれるとき』(そうだつたんだ! 日本語)／『金水敏編「役割語」小辞典』／『金水敏・田中ゆかり・岡室美奈子編「ドラマと方言の新しい関係」』 | 依田惠美 |
| ——『八重の桜』、そして『あまちゃん』へ | 河野光将 |
| 紹介 藤田保幸著『引用研究史論』 | 黒田翔子 |
| 紹介 滝川幸司著『菅原道真論』 | 竹端紀子 |
| 紹介 山本一著『藤原俊成 思索する歌びと』 | 松本大 |
| 紹介 中川照将著『源氏物語』という幻想 | 72 70 67 65 62 |
| 紹介 信多純一・高田博行・椎名美智編『歴史語用論の世界』文法化・待遇表現・発話行為 | 百瀬みのり |
| 紹介 野田尚史・高山善行・小林隆編『日本語の配慮表現の多様性——歴史的変化と地理的・社会的変異』 | 73 |
| 紹介 川崎剛志著『現代語訳完本 小栗』 | 箕浦尚美 |
| 紹介 文草の会『菅家文草注釈 文章篇 第一冊 卷七上』 | 中山一磨 |
| 紹介 平成二十六年度卒業論文・修士論文・博士論文(課程)題目 | 合山林太郎 |
| 平成二十六年度受贈図書 | |
| 平成二十六年度講義題目 | |
| 彙報 | |
| 助教詞「機」の成立 | |

伊藤由貴

99 83 82 81 80 78 76 75 74

前号目次

- 永井荷風による館柳湾評価の背景 合山林太郎
「明治期漢詩人の江戸漢詩に対するまなざし」
- 『河海抄』巻十論 松本 大
「後人増補混入の可能性を中心に」
- 合巻制作の一様相 有澤 知世
「京伝と三馬における相互利用」
- もの言う動物 岩田 美穂
「キャラクターとしての動物のイメージ」 藤本真理子
- 流音の特徴から見た役割語としての韓中ピジン 金 晏貞
「日中ピジン資料を参照しつつ」
- 紹介 蜂矢真郷著『古代語形容詞の研究』 伊藤 由貴
- 紹介 加藤昌嘉著『源氏物語』前後左右 宮川 真弥
- 紹介 荒木浩著『かくして『源氏物語』が誕生する』 瓦井 裕子
- 物語が流動する現場にどう立ち会うか
- 紹介 合山林太郎著『幕末・明治期における日本漢詩文の研究』 新稻 法子
- 紹介 熊倉功夫・筒井絢一・名和修監修 川崎佐知子校訂
『御茶之湯記 予樂院近衛家瀬の茶会記』(茶湯古典叢書六) 仲 沙織